

第29回工雲会総会盛大に開催される

第29回工雲会総会 式次第

第一部 総会

1. 開会の辞
2. 物故会員追悼
3. 工雲会会長挨拶
4. 校長挨拶
5. 来賓紹介
6. 議事
 - 1) 令和3、4、5年度事業及び決算報告
 - 2) 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)審議
 - 3) 役員承認
7. 閉会の辞

第二部 懇親会

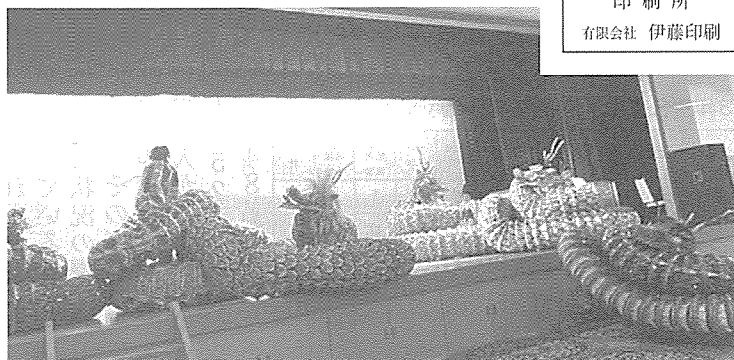


去る令和六年八月二十四日(土)、ラピタウエディングパレスを会場に、六年ぶりに本校の卒業生会(工雲会)の総会が開催されました。前回の第二十八回総会は、コロナウィルス感染症の流行のため、書面総会となりましたが、今年度は無事集合の形で開催することができました。総会は三年に一回開催され、今回の運営には平成九年から十一年、十二年から十四年の六学年の各クラス評議委員会を中心に実行委員会を立ち上げてもいました。

総会では、三年間の活動や決算等の報告がされ承認を得ました。後半の懇親会では一六〇名近くの卒業生

が旧交を温めました。実行委員長はじめ企画運営に当たられた五十八名の実行委員のおかげで、石見神楽東同好会の皆様による神楽の披露や、懐かしの写真を集めたスライドも上映されました。参加していただいた多くの卒業生の方々は、その映像とともに、懐かしき当時の話などに花が咲きました。

次回の第三十回総会は令和九年に開催予定で平成十五年・十六年・十七年の卒業生が担当となります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



工雲会会報

発行所
島根県出雲市上塩町420
出雲工業高校工雲会
編集発行人
多々納 剛人
印刷所
有限会社 伊藤印刷



ご挨拶
会長 多々納 剛人

会員の皆さま、そして関係者の皆さまには日頃より工雲会の運営に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、出雲工業高校は八〇周年の節目を迎えました。昭和十九年に今市工業高校として設立されて以来、学校は様々な変遷を経ながらも、技術教育における重要な役割を担い続け、多くの優れた人材を輩出してきました。

私たち卒業生一人一人が社会で活躍できるのも、学び舎で培った技術と知識、そして仲間たちとの絆があったからこそだと思います。在学中に支えてくださった恩師の皆さま、そして常に母校を見守り続けてきた地域の皆さまに深く感謝申し上げます。さて、技術を基盤とした教育の重要性は今後も変わることなく、むしろますます高まっています。そして、社会は常に新たな技術を導入し、発展し続けていく中で、専門的な知識と実践力を兼ね備えた人材を必要としています。出雲工業高等学校では、これまでの伝統を大切にしながらも、未来を見据えた教育プログラムを通じて、新しい時代に対応できる人材育成に取り組んでこられており、今後も卒業生が社会に果たす役割は極めて大きく、非常に重要だと感じています。卒業生の力は単に産業を支えるだけでなく、地域全体の暮らしの質の向上にも繋がり、技術を通してすべての人が幸福を得られる社会の実現に貢献されることを願っています。

最後に、今回の八〇周年記念事業に対して、卒業生をはじめ、多くの企業や関係者の皆さまから多大なるご寄付を賜りましたこと、心より感謝申し上げますとともに、皆さま方のご健勝、ご多幸を心より祈念申しあげ、ご挨拶いたします。

ご挨拶 校長 松原 紀夫

工雲会員の皆さまには、益々ご健勝でご活躍のことと存じます。また、平素より本校の教育活動に格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

この場をお借りして今年度の学校活動および近況をご報告します。

今年度、本校は、創立八十周年を迎える節目の年となりました。この周年事業に向けて実行委員会を立ち上げ、実行委員長を多々納剛人工雲会会長にお引き受けいただいております。八十周年事業としては、記念式典、募金活動、記念誌編纂の三つを主な事業としております。去る十月十六日に雲市民会館にて記念式典を執り行い、島根県知事丸山達也様、出雲市長飯塚俊之様をはじめ、本校にご縁のある多数の皆さまとこのよき日を祝うことができました。

県知事は祝辞の中で、本校が長年にわたって地域産業のための人材育成に貢献してきたことなどを挙げ、更なる発展への期待感を述べていただきました。その後、芸術鑑賞会もあり、スターライツさんにゴスペルの魅力

伝えていただきました。校舎以外で歌う校歌には特別な思いがあると感じました。また、本事業に際しまして、工雲会をはじめ、在校生・卒業生の保護者様、本校に縁のある企業様、各種学校様より多大なご寄付を賜り、おかげさまで目標額に達する見込みです。今後、実行委員会を経て本校生徒の活動に還元できる環境整備に使わせていただきたいと思います。

さて、平成二十六年六月より新校舎での学びが始まり、十年が経ちました。この間に新実習棟の工事、旧実習棟の解体を行い、平成二十八年年度末までに全ての整備事業が完了しました。加えて、実習設備、実習装置も次々に整備・更新され、令和三年度には国のスマート専門高校事業により、電気実習棟に基板加工機、建築実習棟に万能試験機、機械科実習棟に五軸マシニングセンタが整備されました。また、今年度からDXハイスクール事業が始まり、本校機械科がシミュレーション技術を活用した加工の効率化に取り組んでいます。建築科は、出雲空港やJR出雲市駅、近隣の保育園とつながり、地域ニーズに

応えています。電気科は、出雲商工会議所や電気工事工業組合と協働してものづくりを通じた地域貢献に取り組んでいます。電子機械科は、小学校への出前授業、出雲科学館やいずも産業未来博での電子ホタルの製作体験などに取り組んでいます。

本校の生徒たちは専門的な授業や資格取得に励みながら、部活動にも積極的に取り組んでいます。自転車競技部とアーチェリー部は、国スポ強化指定校に認定され、県内高校生の技術力向上に貢献しています。陸上競技部は、平成八年度から平成三十一年度まで二十四年連続で全国高校駅伝へ出場した伝統あるチームです。ここ数年、部員の減少で厳しい戦いが続いています。新しい戦いが続いています。空手道部やソフトテニス部、放送部、新聞部、ものづくり研究部も全国大会や中国大会へ出場し、生徒にとって貴重な体験の場となり、本校にとっても魅力発信の一つとなっています。

最後に、会員の皆さまの益々のご活躍と工雲会のご隆盛をお祈りするとともに、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶と

令和6年度の進路状況について

進路指導部長 勝部 寛明

工雲会の皆さまには、平素より出雲工業高校の教育へのご理解と、進路活動へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度の求人の動向が懸念されていましたが、ここ数年の傾向通り今年度も有効求人倍率が増加するという結果となりました。今年度の高卒新卒の求人倍率（全国）は9月末の集計で約3・9倍との報道がありました。バブル期を超える超売り手市場です。最大の要因は少子化にあると考えられますが、大卒の求人倍率が横ばいであることを踏まえると、大学や専門学校へ進学する高校生が増えたということも原因としてあると考えています。また、団塊の世代の方々が再雇用期間を終えられたことも急速な人手不足感に繋がっていると捉えています。このような状況の中、専門高校である本校には、その高い専門性と即戦力としての期待から、今年度も県内外から多くの求人が届きました。県内316社（求人数527名）、県外1073社（求人数1848名）が12月末までの数字です。

一社から複数の職種の求人があることが近年続く傾向となっています。本校3年生の就職希望者数から計算すると県内の求人倍率は約8・0倍、県外は71・1倍となりました。全体でも25・8倍という高倍率です。これは卒業生の皆様が県内外において活躍され、作り上げてこられた信頼という名の伝統、そして専門的な知識と技術を身に付けることができる実践重視の本校の教育内容への地域の方々からの期待の表れだと考えています。今後も80年という歴史を誇る出雲工業高校という付加価値を活かした進路指導を行っていくと考えております。

《R6年度 就職状況》

今年度は、96名の生徒が就職を希望しています。前述のとおり売り手市場ではありましたが、あまりに多い求人からか、応募先に悩む生徒が多かったのが今年の傾向かなと感じました。この超売り手市場の中で、生徒たちがより良い選択をできるように企業見学や企業説明会などの進路活動を充実させていこうと思います。

《R6年度 進学状況》

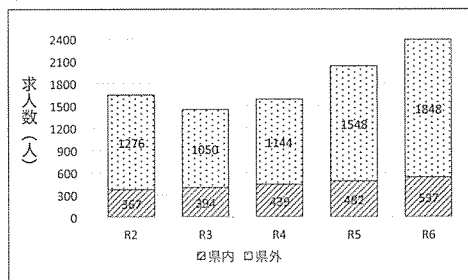
現在、3割強の生徒が進学を希望しています。多くの生徒が工学系の進路を選択し、合格を勝ち取っています。進学を希望する生徒は増加する傾向にありますが、県内には上級学校はそれほど多くはありません。どこに進学しても、いずれは県内企業に就職してもらえらるよう、地元企業の紹介を続けていこうと思います。

今年度も多くの生徒が工雲会に入会いたします。今後とも在校生ともども温かいご指導を賜りますようお願いいたします。

3年生進路状況（令和6年12月末現在）

科	在籍	就職				その他	進学			
		県内	県外	公務員	計	未定	大学	短大	専門学校	計
機械	38	20	2	0	22	0	6	1	9	16
建築	38	16	10	2	28	1	5	0	4	9
電気	30	8	14	1	23	2	3	0	2	5
電子機械	39	21	0	0	21	1	10	0	7	17
計	145	65	26	3	94	3	24	1	22	47
%		69.1%	27.7%	3.2%	64.8%	2.1%	57.1%	2.7%	46.8%	32.4%

求人状況(R2-6年度)※R6のみ12月末現在



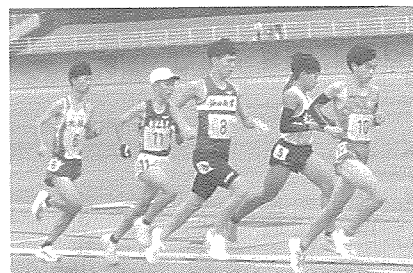
卓球部

卓球部は現在十名で活動しています。練習場所は体育館ギャラリーで、平日は二時間半、土曜日は三時間半練習しています。練習では、基礎打ちや課題練習、ゲーム練習をしています。練習と休憩のメリハリがあり、笑顔が絶えない楽しい部活です。

部員一人ひとりが目標を立て、全員がその目標を達成できるように日々の練習内容を工夫して練習に取り組んでいます。選手としてまた人間として成長できるように頑張っています。



陸上競技部



陸上競技部は現在

長・中・短距離併せて8名で活動しており、最終目標を「全国高校駅伝に出場するだけでなく、勝負ができるチームを作ること」とし、日々練習に励んでいます。入部してしばらくは、自分の力に合った練習をすることができ、未経験者、走るのが苦手な人でも慣れることができます。皆さんに応援してもらえよう、これからも練習に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いします。

撮影などを行っています。ドキュメント制作では、校外に出向いて取材を行うなど、地域との関わりも大切にしています。ドラマ制作では、脚本から考え、撮影、編集し、自分の伝えたい想いを映像にしています。特に全国大会では、「島根らしさ」が伝わるような作品を心掛け、見る人の印象に残る作品作りを目指しています。

アーチエリー部

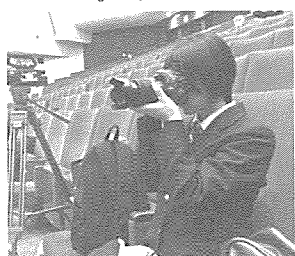
アーチエリー部は、現在部員十三名で活動しています。部員同士の仲が良く、切磋琢磨し合いながら日々の練習に取り組んでいます。今年度は、部員一名が中国大会で個人戦第四位の成績を収めることができました。来年度に向けては、団体戦も個人戦も全国大会での上位入賞を目標にしています。「応援したくなるチーム」を目指し、さまざまな取り組みに全力で頑張っており、今後ともよろしく願いいたします。

自転車競技部

自転車競技部は二年生四名（女子一名）、一年生二名の計六名で活動しています。練習内容は平日ロード練習二時間、休日はロード練習三時間や大田市にある自転車競技場に行き、トラック練習をしています。自転車競技にはさまざまな種目があり、単純にスピードを競うだけではなく、他の選手との駆け引きの要素が強いところが醍醐味です。

放送部

放送部は、映像作品の制作（ドキュメント・ドラマ）や学校行事の記録



在校生の活躍

「ロボット競技大会に参加して」

電子機械科3年 天喰 翔太

私たちは島根県代表として、第三十二回全国高等学校ロボット競技大会に出場しました。

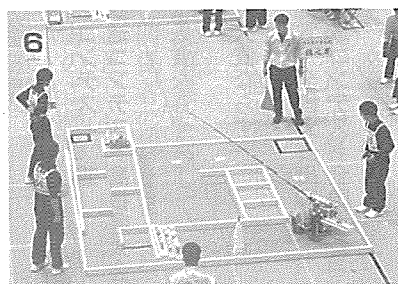
全国の予選を勝ち進んだ九十六チームの参加がありました。全国大会ではマシン



ントラブルもなく、自分の納得のいく操作をすることができました。決勝戦まで勝ち進み三位になることができました。この成績を収めることができましたのは先生方や部員、保護

者の方々など、多くの方からの支援があったからだと思っています。

私はものづくり研究部に入ってからさまざまな経験することが出来ました。時には苦労することもありましたが、いろいろなことを学ぶことができました。部活動をするのはとても楽しく、ものづくり研究部に入ってから、本当に良かったと思います。



令和6年度 主な部活動報告

●野球部

第106回全国高等学校野球選手権大会島根県大会
(2回戦) 出雲工業 7対5 松江工業
(3回戦) 出雲工業 0対5 大社 ベスト16

●陸上競技部

第78回国民体育大会島根県予選会
少年男子800m 2位 M1曾田 曉大 2分00秒48

2024年度島根県高等学校総合体育大会結果

男子総合(Aグループ) 第8位(59点)

女子総合(Bグループ) 第28位(10点)

男女総合(Aグループ) 第13位(69点)

●陸上競技部

令和6年度島根県高等学校総合体育大会陸上競技大会
5000m 5位 E1手銭 快星 15分54秒31

●バスケットボール部

1回戦 出雲工業 85-61 大社

2回戦 出雲工業 35-61 松江工業

●バレーボール部

2回戦 出雲工業 0-2 大社

●卓球部

【男子学校対抗】

1回戦 出雲工業 2-3 遼摩

【男子ダブルス】

3回戦 M3森山元気・M2湯原翔
M3昌子哲平・A2三島脩那

【男子シングルス】

3回戦 M3森山元気、M3昌子哲平、M3土江遼都
M2湯原翔、A2三島脩那

【女子シングルス】

2回戦 A1森山椎禾

●ソフトテニス部

個人戦 ベスト24 A2伊藤 颯・E3森山 青空
(中国大会出場)

ベスト16 M3岡 陽太・E3藤原 大和
(中国大会出場)

第5位 M2小村 駿斗・A2山本 遥斗
(インターハイ出場)

団体戦 1回戦 出雲工業 3-0 隠岐

2回戦 出雲工業 2-0 松江南

3回戦 出雲工業 2-0 出雲

準決勝 出雲工業 1-2 浜田 ベスト4

●柔道部

男子個人戦60kg級

1回戦 M2勝原 悠太、A3成相 太智

2回戦 M3荒木 友寛

●剣道部

男子団体 1回戦

男子個人 入賞なし

●サッカー部

1回戦 出雲工業 5-0 出雲北稜

2回戦 出雲工業 1-0 松江東

3回戦 出雲工業 0-1 大社

●自転車競技部

トラック競技

1kmタイムトライアル 3位 M2持田 虎徹

スクラッチ 2位 M2持田 虎徹

ケイリン 2位 M2持田 虎徹

4km速度競走 1位 M2持田 虎徹

ポイントレース 2位 M2持田 虎徹

3kmインディヴィデュアルパシユート 2位 M2持田 虎徹

スプリント 3位 A3周藤 稜希

チームスプリント 1位 M2持田 虎徹

4kmチームパシユート 2位 出雲工業

女子2km 1位 M2江戸 優

女子5000m 1位 M2江戸 優

女子スプリント 1位 M2持田 虎徹

ロード競技 1位 M2江戸 優

●弓道部

男子団体 第3位

男子個人 ベスト8 3人

女子団体 予選敗退

女子個人 入賞者なし

●アーチェリー部

男子団体70mラウンド 準優勝 1507点

男子個人70mラウンド 優勝 584点

●空手道部

男子総合 第2位

女子総合 第2位

男子団体組手 第1位

女子団体組手 第2位

女子個人形 第3位 A3生和 春乃

男子個人形 第5位 A2吉田 和叶

男子個人組手 第2位 S2成相 勇稀

男子個人組手 第3位 M3松島 光羽

2024文化系部活動大会結果

●放送部

第60回島根県高等学校放送コンテスト 兼
第71回NHK杯全国高校放送コンテスト島根県大会

【ラジオドキュメント部門】

「カーテン」 上位入賞ならず

【テレビドキュメント部門】

「最弱から最強へ」上位入賞ならず

【創作テレビドラマ部門】

「私の色」 優秀賞・全国大会出場

第71回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会

【創作テレビドラマ部門】

「私の色」

準々決勝敗退

●ものづくり研究部 機械系

令和6年度 高校生ものづくりコンテスト

旋盤作業部門 島根県大会

1位 M3林 宗汰

2位 M3山口陸也

令和6年度 高校生ものづくりコンテスト

旋盤作業部門 中国大会 8位 M3山口 陸也

●ものづくり研究部 建築系

令和6年度 高校生ものづくりコンテスト

木材加工部門 島根・鳥取大会

第1位 A3高瀬 蓮歩

第2位 A2永島 悠翔

令和6年度 高校生ものづくりコンテスト

木材加工部門 中国大会 第3位 A3高瀬 蓮歩

令和6年度 第十九回若年者ものづくり競技大会

建築大工部門 全国大会

A3 高瀬 蓮歩

●ものづくり研究部 電気系

令和6年度 高校生ものづくりコンテスト

電気工事部門 中国大会 第4位 E2田中 雅大

●ものづくり研究部 電子機械系

令和6年度ロボット競技島根県大会

須佐之男(すさのお)優勝 全国大会出場

MIZUKAZE(みずかぜ)2位

第32回全国高等学校ロボット競技大会栃木大会

予選 7位で通過

準決勝 6位で通過

決勝 3位

●新聞部

第43回島根県高等学校新聞コンクール

優秀賞